

講義名称	地域コミュニティ論	担当教員名	田中 一雄
科目群	共通基礎 (B)		
科目区分等	教養科目 (LA) 必修	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CBLA2110

授業のキーワード	地域コミュニティ（地域社会）から現代社会を考える
授業の概要	今、地域やコミュニティのあり方が問われています。私たちの生活の原点である地域コミュニティの現状を知るとともに、地域が抱えている様々な課題や問題点について考えます。
期待される学習成果（目標）	地域コミュニティの現状と課題について学ぶことにより、地域社会の子育て支援の中核的な人材となるみなさんに、職業人として、また、地域人として必要不可欠である「地域社会への意識」を高めます。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	地域社会、地域コミュニティとは何か。地域の重要性について考えます。
2	地域社会の変化Ⅰ	高度経済成長期における日本の経済・社会の変化
3	地域社会の変化Ⅱ	地方の時代と地域コミュニティ
4	地方分権・地方創生と地域コミュニティ	地方分権改革以降、地方創生まで、国の政策と地域コミュニティのあり方
5	地域コミュニティの役割Ⅰ	子育て支援と地域コミュニティ
6	地域コミュニティの役割Ⅱ	学校と地域コミュニティ
7	地域コミュニティの役割Ⅲ	少子・高齢社会、人口減少社会と地域コミュニティ
8	地域コミュニティの役割Ⅳ	中心商店街と地域コミュニティ
9	地域コミュニティの役割Ⅴ	多文化共生と地域コミュニティ
10	地域コミュニティの役割Ⅵ	NPOと地域コミュニティ
11	地域の創造と再生	地域づくり、まちづくりの全国事例を紹介
12	ぐんまの地域社会	歴史と特徴
13	ぐんまの地域の再編成	市町村の変遷―昭和の大合併と平成の大合併
14	ぐんまの地域社会の課題	これからの群馬県のあり方
15	地域コミュニティの未来	人口減少社会における地域コミュニティのあり方

定期試験	レポート試験とする予定。なお、中間レポートも課します。
授業時間外学習	予習2時間 復習2時間
評価方法	中間レポート40%、期末レポート60%
使用する教科書（必ず購入してください）	レジメと資料を作成、配布して進めます。
参考文献	森岡清志「地域の社会学」（有斐閣） 広井良典「コミュニティを問いなおす」（筑摩書店）